

2024年度 第5回 藤沢市立片瀬中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2025年2月27日（金）11時～12時

場 所 片瀬中学校 会議室

出席委員	<p>本澤 剛（会長・元片瀬中学校PTA会長）          湯山 薫（副会長・片瀬中学校校長）          塚田 尚子（片瀬地区青少年育成協会会長）          渡邊 智恵子（片瀬地区青少年支援フォーラム会長）          根津 智乃（片瀬地区青少年支援フォーラム中学校支援担当）          稲富 容子（片瀬中学校保護者）          西野 佳菜恵（片瀬中学校保護者）          澁谷 宏美（片瀬山市民の家運営委員長）          森井 理恵（片瀬市民センター長）          清水 聖子（藤沢市社会福祉協議会片瀬地区担当CSW）          梶 陽子（片瀬中学校教頭）</p>
次第	<p>1. 開会          2. 学校の様子について          3. 議題 （1）学校評価結果について                    （2）令和7年度学校運営協議会委員について                    （3）その他          4. その他          5. 閉会</p>
協議内容	<p>○学校の様子について          1年生は江の島フィールドワークのまとめが立派な出来栄えの発表資料となり、これからが楽しみ。2年生になると横浜フィールドワークがあり、それぞれテーマをもってグループで調べて発表する。3年になると修学旅行。          このように、3年間通してテーマを立て、主に総合的な学習の時間を使って調べて発表するプレゼン力も養う。          ほか、特別活動として2年生は、冬スポーツ教室で先日御坂カムイスキー場へ。学年で重点を置いて3年間通して冬スポーツを実施。          キャリア教育については保護者周知が難しいところ。1年生のときから進路学習をはじめ、2年時には関心のある高校調べ、職業体験で仕事の大切さを学ぶ。3年時では特別日課において校外学習へ出かける。そのための決まりを決めてバーベキューを楽しむ。今日は救急救命講習会。その他、思春期講座を開催して保健師からの話、薬物乱用防止教室においてオーバードーズや大麻の話講師から聞く。来週は、教育支援の方々のサポートにより、側溝清掃や古い椅子を整理・廃棄する作業を、3年間お世話になった学校への奉仕活動として実施する。          相変わらず課題となっているのが、西門の塀。いつ崩れるのか分からない危険な状態。道路管理課に申し出てコーンを設置する要請。バイク自転車走行禁止の表示。校門は今年度修理ならず、来年度必ずお願いしているところ。          いじめを認知した場合は、学校で対策委員会を開く。30日以上欠席、重</p>

大な事態の場合は開催することになっているが、本校でも案件あり、再発防止に努めているところ。

別室登校KR（片瀬ルーム）は10数名生徒がいる。ここなら来られる子が結構いる。3年生の中には卒業式に出てみようかという意欲のある生徒もいる。午前中しか空いていないが、来年度は午後も開けるよう調整をしているところ。

年度途中に教室支援が必要となる生徒もおり、支援体制の整備に注力しているところである。

（本澤会長）「進路」というと高校受験のイメージが高いと思うが。

（湯山委員）保護者の方はそのイメージ。偏差値の高い高校に行くことが幸せという価値観が多いかと思われる。どこに向かって頑張ればよいのか迷うこともある。

（本澤会長）中学生の不安を払拭するためにお手伝いすることがあれば。

（湯山委員）欠席の多い生徒には、年度末に進級の希望の有無を聞く面接をするが、みんなと同じように高校に行きたいという思いはある。今の自分とのギャップで悩むことがある。なにか一つでも頑張ることができれば自分の力になる。昨日、20年経って卒業生が来校。今から定時制高校を受検すること。留学するために高卒資格が必要とのこと。初めて入った高校は目的意識もなく合わなくて中退した。学びたいときに学ぶ、それでもよい。

（湯山委員）子どもたちは何をやりたいか決まっていない。これって決まったものではなく、その時々で変わっていくものだと思う。

（本澤会長）AIで今ある職業がなくなると聞くと、子どもたちの意欲を削ぐものだと思うと怖い。実際はそんなにはなくなるわけではない。子どもたちがネガティブにならない方がいい。

#### ○その他

（西野委員）こどもランドの前で事故があった。新林小のところにあるボタンを押せば点滅する表示（ぴかっとわたるくん）を要請できないか。すぐ先に信号があるので、信号はつかないらしい。

（湯山委員）小学校の方で通学路点検をしている。そちらからも声を上げてもらうとよいかもしれない。学校からも言ってみる。

（森井委員）交通対策協議会にも話してみる。信号は警察になってしまうが、信号でなければなにかできるかもしれない。

（本澤会長）交番の駐在員もその危険性は認識しているが、信号でなければ、行政やいろいろなところから声を上げれば効果的かもしれない。

（塚田委員）江の島フィールドワークは歴史などがテーマになるのか

（湯山委員）中学生には歴史から入るのがなかなか難しい生徒もいる。グルメなどから入ってテーマに関心を持ち、広げられるとよい。

（塚田委員）先日、スクールロイヤーの話聞いたが、藤沢市にもいるのか。

（湯山委員）藤沢や県にもいるがなかなか現場との距離があり、実際に学校がお願いしたことはない。